

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	多機能型事業所ぶれも・もぼら(放課後等デイサービス)		放デイ		公表日 令和 7年 2月 18日		利用児童数	36	回収数	35 (回収率97.2%)
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	1		1	1人1部屋なので広すぎるぐらいである。 部屋はたくさんある。	当日の活動に合わせて部屋を決めています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	34	1			1人に1人の先生のため安心である。	状況に合わせて複数の支援者が入る場合もあります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32			3	身体を動かしにくいこどもは、段差が大変かもしれない。トイレはバリアフリー化され、環境調整されている。倉庫もこどもに分かりやすい。ブランコ・トランポリンがあり、満足している。	危険な場所等の表示をし、わかりやすいように心掛けます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	1			ケガをしないように保護されている。	より安全な設備を心掛けます。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	2			スモールステップで成功体験を積み重ねている。特性に寄り添い、専門性の高い先生方の知見に基づいた指導がされている。	専門性をより磨くようにいたします。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	3		1	パンフレット通りである。	今後も分かりやすいプログラムの公表を心掛けます。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35				親が気付かないことまで理解し、分析してくれる。	ニーズを意識して計画作成をします。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35				具体的な支援内容が設定されている。	引き続き適切な支援内容を設定し、丁寧な説明を心掛けます。		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	1			計画に沿った支援が行われている。	今後も計画に沿って支援していきます。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	1			新しいプログラムに取り組んでいる。	成長に合わせたプログラムを考えます。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4	5	16	個別指導で40分間では、交流は難しい。交流があるか分からない。	保育所や地域のこどもと関わる活動を考えます。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35				説明があった。	今後も丁寧な説明を心掛けます。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35				支援計画を見ながら、説明があった。	今後も丁寧な説明を心掛けます。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	3		1	研修会、理事長の研修などを増やして欲しい。平日は、仕事なので土曜日に開催して欲しい。	研修会の企画を考えます。 曜日に関しては検討させていただきます。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	33	1		1	悩み事を話しやすく頼っている。事業所内相談で子どもの接し方を教わり助かっている。話を聞いてくれて助かっている。	今後もこどもの状況をお伝えし、接し方等を分かりやすく説明していきます。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	4		1	第三者目線で専門的な助言をいただける。	今後も専門性を磨き、適切な助言ができるようになります。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1			共感的な支援である。	今後も続けてまいります。		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	29	3		3	保護者会はあるが、兄弟のイベントはない。兄弟向けのイベントがあるか分からない。予定が合えば参加したい。	保護者会は前期は祝日、後期は平日に行いました。土曜日開催と兄弟向けイベントについては、検討させていただきます。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1	2	相談について、周知・説明された。	事業所内相談等で対応することを引き続き、周知してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35			意思疎通はされている。	当事業所は、利用者様・保護者様と対面でお話することを基本としています。今後も継続して意思疎通、情報伝達をします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	2	1	SNSに対応できていない。	ホームページに活動、自己評価は、公開していますが、行事・連絡は、文書・電話が主になっています。活用の検討をいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35			個人情報の取扱いに注意している。	個人情報保護規定を策定し、個人情報の取り扱いには、注意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34	1		保護者に周知できていない。	各マニュアルは策定済みです。設置場所は面接室本棚になります。緊急時訓練は、職員は毎月、利用者様・保護者様と一緒に年2回実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	1	1	訓練にまだ参加していない。子どもが避難の仕方がわかるような訓練があっても良い。	利用者様参加の訓練は、年2回予定しています。参加できない方には、説明をしています。訓練の様子は、ぶれもだよりでお知らせしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	1		安全確保は、されている。	事故防止マニュアル・安全計画を作成し、安全を確保して支援を実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	1	3	事故がないので分からない。	事故が発生した場合の報告についてマニュアルに記載しています。また、保護者会で事故報告をするシステムになっています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33	2		一番大好きだと言っている。安心している。	今後も安心感、充実感の持てる事業所を目指しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	2		とても楽しみにしている。ぶれもあるから学校で頑張っている。先生が大好きである。	今後も事業所としてできる取り組みを継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	1		大満足である。支援の時間があっという間で物足りない。もっと工作をしたい。大変世話になっている。	利用者様が満足できる努力を続けます。